

指笛雑感

de JA1R1Z

木管、金管を除きそれ以外の笛としては、草の葉笛、篠笛そして口笛・指笛などがある。気分の良いときには口笛の出てる人も多い。そして、感激したときにはピー・ピーと指笛を吹く人もいる。口笛を吹ける人は多いと思われるが指笛はどうだろうか。

私は両手の人差し指と中指を使う指笛を吹くのは物心ついた頃からできた。だが沖縄指笛の様に片手のみで吹くことは出来なかった。

ある辞書には『**口笛**』: 口をすぼめ、呼気や吸気で口腔(コウクウ)内に気流をおこし、笛のような音を発音すること、またはその音。補助的に指を使用する場合は指笛とよび区別する。口笛は合奏に用いることもあるが、個人的に旋律を再現して楽しむ場合に多く用いられる。それは個人の満ち足りた気分の表示としばしば解釈される。また、平静を装ったり、周囲を牽制するために吹くこともある。より普遍的には、狩猟などで人間同士が連携体勢を強めるための合図や信号伝達に使われる。さらに、犬や鳥など人間以外の動物との意志の交流にも役だつ。人体楽器として音楽に使われた例では、プライヤー作曲『口笛吹きと小犬』が有名である。

又、『**指笛**』: 片手または両手の指数本を口に入れ、口腔(こうくう)内に気流を起こして発音する行為。世界各地でみられる。口笛が旋律を想起し再現するという内省的で個人的な行為でもあるのに対し、指笛はもっぱら自分を他人にかかわらせる行為であり、音信号として使われる。普通、ある相手の注意をこちらに向けさせるときや、熱狂した場面で人をはやし立てるときなどに用いられ、沖縄地方では、後者の用途がさまざまな行事でみられる。

等々…。又その区別を「強く吹いて指笛のように大きな音にならないのは口笛。②深口に水を含んで吹いたとき、ダラダラと口から水が流れ落ちたら口笛。キリフキのようにシャーと飛び散ったら指笛。」という解説をしている人もいる。指を使わない指笛というものもある、ということまで……。どこに違いがあるのか理解に苦しみますね。

…結局、『指笛は口笛より一層大きな音が出る』というのが一般的かと思います。

前置きが長くなりましたが、その大きな音の出る指笛に、にわかに興味を持ち、吹ける様になりたい一身上、片手で音の出る指笛の猛特訓をしている今日この頃です。hi hi

なかなかそのコツはつかめず、スー、ビューー〜ピーイーっと！そして、不安定ながらも少しはピー音がでるようになった。まだ口笛のように音程は取れないが、修行を積みばある程度は音程も取れてくるか…。沖縄指笛のようにピー・ピーとかん高い音で拍子でも取れば良いのだが、沖縄人の様には上手に行かないさ！ハイ。

指笛で音が出るのは、ビンで音が出るのと同じです…。結局は、共鳴空間を口の中に作って音を増幅することで大きな音が出せるということのようだ。野原で思いっきり指笛を吹いてみるのも楽しいかもしれない。フーフーと強く息を出すことは、健康にも良いとされている。口笛の世界も奥が深い様ですが、指笛も凄い。習い事として指笛の世界に浸ってみるのも悪くはないかもしれません。先生を募集中!!! 三日坊主男より。 (完)